

☆ 子ども会 (学習会) だより ☆

MY SKY 第2号

☆

☆

マイ スカイ

1996年4月23日火曜日発行(毎週火曜日定期発行)

発行者

板野中学校

学習会

編集・文責: 誠正社

「おはよう」と声かけたくなる／さわやかな／自分が好きな／4月の学校

1年生って本当に可愛らしいですね。2, 3年生も可愛らしいのですが、また格別なさわやかさがあります。そして「おはようございま〜す」と返ってくる声にも、笑みがこぼれる毎朝です。お互い、いつまでもそんな自分でいたいものですね。

さて、前号のMY SKYについて生活ノートに綴ってきてくれた文章が、手元に届きました。内容はどうであれ、やはり反応が返ってくるというのはうれしいものですね。

少し読んでみてください。

MY SKYの、坂東先生のところを読んで、部落の子とつき合って、先生や親に反対されたとき、先生は何も言い返さなかったって書いていたけど、私だったら絶対泣きながらも言い返してたと思うナ。だって、悔しいじゃない。お互い好きなのに、つき合っちゃいけないなんて、つらすぎる。

それと、吉成先生が受け持っていたクラスのある女の子の文を読んで『仲間』の大切さっていうのが、すごくよくわかった。仲間がいることは、すごく素晴らしいことですネ。

4月16日3年女子

★

★

★

★

★

今日のMY SKYを読んで、僕も差別意識のない人間なんていないと思います。絶対にみんなどこかで差別をしている。MY SKYの文の中に「諦めて何もしないのか?」というところがあります。僕も吉成先生といっしょで、イヤです。差別意識は自分の中にあるものです。そんな自分の中にある差別意識を少なくしようと部落問題学習をがんばっています。この頃「本当に部落差別ってなくなるんかえ」って思うときがあります。もしかしたらなくなるかもしれないけど、なくなるかもしれないけど、僕は今自分にできることを精一杯したい。やる前から諦めずに、自分が納得いくまでがんばりたい。

4月16日3年男子

3年団が「かがやき」という学年通信を発行しているようですね。毎日のように私の机

にも届けられます。内容も豊富で、毎日の楽しみの一つとなっています。その中にも生活ノートからの文章が掲載されています。生活ノートがどれだけのクラスで活用されているのかわかりませんが、できるだけ多くのクラスで活用されることを望みます。そしてまた、いろんな原稿がMY SKYや学年通信にたくさん届けられることを心待ちにしています。



◎今年度の子ども会(学習会)は、私たちがつとめます! vol.2

まずは前号の続きで、子ども会(学習会)関係の先生方の文章を読んでみてください。



今思ふこと

学習会専任指導員 岩谷 陽子

来年の8月から引き続き本年度も学習会専任指導員として板野中学校に勤務することになりました。昨年は、初めての中学校勤務で初体験も多く、慌ただしく時間が過ぎていきました。その8カ月間を振り返ってみると、たくさん学ぶことができた反面、自分自身の知識のなさを思い知らされました。(もっともっと勉強しなくては……)

これまでの私の部落問題との関わりは、小学校で“なかま”という本を使い勉強することから始まりました。道徳の時間もそうでしたが、私自身あまり好きではありませんでした。下を向く子が多く、自分なりに考えるのだけど、発表できずにいつも心の中がもやもやしている自分がいました。勉強したことが生活と結びつかず、逆に離れていくようで、道徳や“なかま”を使った授業は暗いイメージをもっています。中学校、高校と進むにしたがって、部落問題学習の授業は少なくなっていました。大学で同和教育の講義を受け、学習会の存在を知りました。しかし、またピンとこないところがありました。卒業後、小学校の臨時教員をする中で、学習会専任指導員をする機会がありました。自分の立場を知らない子どもたちに“どうして私やだけ学習会に来なあかんの?”とよく質問され、子どもたちが納得する答えを言う力もなく、自分が腹立たしく思いました。

こんな経緯で今私が思うことは、いつもキラキラした自分でいたい!!自分を好きになりたい!!そのためには“変わらなきゃ!!”ということです。何かを変えることは勇気がいるし、しんどいことだと思いますが、困難なこと、しんどいことは自分を成長させてくれるチャンスと思って、がんばっていきたいです。自分の差別意識にもっと敏感になり、少しずつ取り除いていきたいです。自分の思いをもっと出し、子どもたちや保護者の方々と話

をしていきたいと思います。来年の3月には、今よりキラキラ輝いている自分になるため、
日々^{ひびじつ}奮闘していきたいです。みんなも一緒にキラキラ輝くため、互いに磨^{みが}いていきましょ
う。この1年間よろしくお願ひします。



がくしゅうかい 学習会をはじめるにあたって

同和教育主事 阿部 憲作

〈部落差別はそっとしておけばなくなるのに〉とか、〈差別だ、部落問題だ、と言わな
いほうがよい〉とか、〈何も知らない者に教えるのは、寝た子^{ねこ}を起こすようなものだ〉と
か、みなさん、こういう意見を聞いたことがないでしょうか。

しかし、差別は「いま」あるのです。

しかも、差別は「ここ」（私たちのまわり）にあるのです。

残念ながら、私たちのまわりには、部落問題に対するまちがった知識や、まちがった考
え方がたくさんあります。

「寝た子を起こす」とは、どういうことなのでしょう？

「知らない人に余分^{よぶん}なことを教える」ことではないのです。

「まちがって知っている人に、正しいことを教える」こと

「知らない人に、きちんと正しく知ってもらう」こと

なのです。

また、〈「同和」地区だけがよくなっている〉とか、〈あの人たちは特別^{あつか}扱いされている
〉とか、〈学習会は必要ない。逆差別^{ぎゃくさべつ}だ〉とか、みなさん、こういう意見を聞いたこと
はないでしょうか。

このような意見はすべて、『同和対策事業^{どうわたいさくしぎょう}』に対する考え方がまちがっているか、知ら
ないことからくる誤解^{ごかい}です。

被差別部落は部落外にくらべて、

安定した仕事についていない、

家屋^{かおく}が狭^{せま}い、

道路^{じょうけん}の条 件が悪いなど、

生活レベルの低い^{ひく}状 態^{じょうたい}にありました。

こういった低いレベルにしていた原因は

「差別にある」のです。

個人の努力ではどうしようもないところに、その原因があるのです。

『同和対策事業』は、

被差別部落の低い生活レベルを、部落外のレベルまで引き上げることを目的につくられたものです。

〈「同和」地区だけが特別によくなっている〉というとらえ方をする人、自分の心の中をのぞいてみてください。

〈「同和」地区は低いレベルにあって当然だ〉という意識がありませんか。

それが、まさに差別（差別意識）なのです。

しかも、『「同和」対策に関する法律』は、被差別部落の人たちが、自分たちの力で立ち上がり、「このままの差別の状態を^{ほうち}放置するわけにはいかない」と、^{せいふ}政府に働きかけ、^{なが}永い間の運動の結果、つくられたものなのです。

だから、これを、「うらんだり」

「ねたんだり」するのは、

おかしいことになりませんか。

生徒のみなさん、保護者のみなさん、今年も学校で、学習会で「同和」教育を^{てっぺい}徹底していきたいです。どうかよろしくお願いします。

★ ★ ★ ★ ★

^{ぜんごうしやうかい}前号紹介した卒業生の文章につながって、次のような文章が届けられました。

今日帰りの学活で、先生が話していたようなことが^{じっさい}実際うちの^{しんせき}親戚のお姉ちゃんにもありました。

私とそのお姉ちゃんはすごく仲良くて、よく遊んでもらったりしていました。ちょうど今から3、4年ぐらい前ごろからそのお姉ちゃんを見かけなくなりました。部落のところに^{よめ}お嫁に行ったからだと聞きました。私の^{しんせきじゅう}親戚中の人がお姉ちゃんの結婚を認めず、^{みと}縁を切るという話も出たそうです。それでも負けずに幸せに生活しているそうです。そのお姉ちゃんのお父さん、お母さんは、最初^{もちはんたい}猛反対だったのに、今は電話をしたり、少しだけ家に帰ってきているそうです。少しずつだけど、お父さんお母さん(批^めん・擬^ぎん)も、わかって^{ゆる}許してくれているそうですが、やはりまだ^{いとこ}従兄弟や^{しんせき}親戚の人が周りでうるさく言っているそうです。「本当にめちゃくちゃ^{めいわく}迷惑な子やな」と、そのお姉ちゃんのお父さんに言った親戚のおばさんがいます。そのお父さんは、その人に対してすごく^{おこ}怒ったそうです。「今は今で娘も^え幸せで、顔にも^が少しずつ笑顔

が戻ってきようけん、たのむけん邪魔せんといてくれ。私はもう娘のこと認めとうけん」と、親戚のおばさんに言ったそうです。

現実に私の親戚の人もこんな問題ですごく悩んでいます。今の問題、自分の問題として考えていかなければいけません。私は、お姉ちゃんに応援することしかできんけど精一杯めげずに自分らしくいきいきと生活していったほしい。 4月16日3年女子

阿部先生の文章にもあるように、まだまだ部落差別は残っています。しかも複雑に絡み合い、ほつれた糸のようになって、私たちの意識の中に入り込んでいます。そのほつれた糸を一つ一つほどこいていく必要があります。たちまち、結婚問題を解決していくことは、大きな問題の一つです。前号の卒業生や上の女の子のような例は、他にもたくさんあると思うんです。それらを放ったらかしにせず、自分のこととして考えていかなければいけないと思います。そのためにも、正しい知識、人を冷静に正していける強さ、差別に屈しないたくましさをも身につけなければなりません。

その糸をほどこいていくため、今年度、子ども会(学習会)活動を大きく変えようと考えています。そのことについても、開講式でお話していこうと思っていますので、各会場楽しみに参加してください。日程は以下の通りです。

開講式は、いわば入学式・始業式のようなものです。大切な大切な行事の一つなので、みんなで充実した時間にするため、自分の考えをしっかりと練って参加してみましょう！

そして、力が湧いてくる子ども会(学習会)に、変えていきましょう！！



◇ これからの日程 ◇◇◇

4月23日(火) 家庭訪問開始

24日(水) 子ども会(学習会)板野南公会堂開講式

26日(金) 子ども会(学習会)板野町総合センター開講式

30日(火) 子ども会(学習会)板野東公会堂開講式、『MY SKY 第3号』発行日

5月1日(水) 子ども会(学習会)郡頭教育集会所開講式

2日(木) 子ども会(学習会)川端教育集会所開講式

7日(火) 『MY SKY 第4号』発行日

8日(水) 子ども会(学習会)南校区保護者会(板野南公会堂：7：30～)

14日(火) 子ども会(学習会)東・西校区保護者会(板野中学校：7：30～)

『MY SKY 第5号』発行日